



インドカレーをいただきました

本格的なスパイスの香る、とてもおいしいインドカレーをいただきました。始めて食べるナンに大興奮のご利用者さん達に、支援員が食べ方のレクチャーを行いました。「めっちゃおいしい！」の歓声があちこちから聞こえてきました。ターメリックライスも彩りよく、甘いラッシーもついてボリューム満点のイベント食でした。

(記・支援員 高橋真由美)



バターチキンカレー
タンドリーフィッシュ
ターメリックライス
野菜サラダ
ラッシー・ナン



インフルエンザワクチン接種



インフルエンザワクチン予防接種を、11月11日に新館男性・本館男性・本館女性のご利用者全て、ご家族・後見人の皆さんの同意を得て接種を終えています。接種後は、各棟内にてワクチンによる影響がないか、経過観察していましたが特変なくすごされていました。

風邪やインフルエンザが流行し、また第8波のコロナウイルスが再び流行するといわれる季節となっていますが、ご利用者の安全をこれからも守っていきます。

(記：支援課長 山下祐輔)

動作法ってなんだろう？



本館棟で取り組んでいる動作法についてお話したいと思います。

まず初めに動作法とは

- ①動作法は、脳性まひの子どもの動作不自由を改善するために開発された訓練技法(動作訓練)からスタートしました。その過程で、体の緊張を緩めることにより、自分の体の動きに気づき、動作をコントロールする力を育てることにより、動作を通して心理的問題を改善することが確認されました。それにより、心理療法とも言われています。
- ②私たちの体(行動・動作)は、心と密接につながっているとされています。不安や緊張が強いと、肩が上がって姿勢がぎこちなくなったり、気持ちが落ち着かないときには、行動や動作がせわしなくなったりするのは、“心の状態”が“体の状態”に影響を及ぼしているためと言われています。このことから、自分の体を主体的に動かして動きをコントロールし、緊張が入っている部分を意図的に弛緩する経験を通して心身のリラクセスを図り、自分の心や体の状態・体の動きに気づき、気持ちや行動の安定を図ります。

この動作法を通して、ご利用者の心理的安定を図り、イライラや問題行動等の減少、自発的に行動することの楽しさ、やりがいにつながるように支援しています。現在、本館棟では日中活動前に動作法を行う事で、リフレッシュしていただいた状態で活動へ参加していただき、「活動へ参加するきっかけを作る」ことを重点目標として取り組んでいます。

また、施設内職員にも動作法の大切さや楽しさを知っていただくことで、一緒に取り組んでいける職員を増やし、ご利用者へ還元できるような取り組みも今後は行っていきたいと考えています。

今後も動作法の技術並びにその考えの理解を向上させ、ご利用者により良い動作法を受けて頂けるように邁進していきますので、今後どうぞよろしくお願い致します。なお、施設内での取り組みは、スーパーバイザーの指示のもと実施しています。

(記：支援員 近藤瑞起)

